

シリーズ「生活習慣病の一次予防を考える ～超高齢社会を見据えて～」第1回

少子高齢化の一途をたどるわが国で、高齢者が安心して生きていける社会にするためには、これから社会の担い手となる若い世代からの健康づくりが重要なカギとなります。

本セミナーでは、超高齢社会を展望し、若い世代から高齢者までの健康寿命の問題を縦断的に捉え、わが国の生活習慣病対策に新たな視点を提供いたします。

参加費無料

日時 平成27年10月28日(水) 18:15～20:35(開場17:45)

会場 東医健保会館(新宿区南元町4番地) 定員 250名 お申込みは、裏面をご覧ください。

基調講演 「超高齢化社会を迎えたわが国の生活習慣病を縦断的に捉える」



座長・講師

寺本 民生先生

帝京大学臨床研究センター センター長

講演 「小児生活習慣病の実態と予防対策-長寿県だった沖縄からの報告-」



※現代の子どもたちの健康問題とは？

沖縄の事例をもとに、子ども世代から始める生活習慣病対策を考えます

太田 孝男先生

琉球大学大学院医学研究科育成医学講座 教授

講演 「健康寿命を伸ばすために-高齢になる前となった後の予防と対策-」



※高齢者特有の健康問題とは？生活習慣病と認知症発症率の関連性など、健康寿命を伸ばすための健康管理を考えます

横手 幸太郎先生

千葉大学大学院医学研究院細胞治療内科学講座 教授

発表 「元氣プラザの健診データ解析から」 ころとからだの元氣プラザ 統括所長 及川孝光

○パネルディスカッション 座長 寺本民生先生

パネリスト 太田孝男先生、横手幸太郎先生

主催 医療法人社団 ころとからだの元氣プラザ / 一般財団法人 東京顕微鏡院

後援 厚生労働省、東京都、健康日本21推進全国連絡協議会、日本栄養士会、東京都栄養士会

※本セミナーは中央労働災害防止協会のTHPLレベルアップ研修会に認定されています(受講により1単位が取得できます)。